



平成 28 年 3 月期 第 3 四半期決算短信（非連結）

平成 28 年 2 月 10 日

会 社 名 マイコロジーテクノ株式会社

グリーンシート銘柄

コード番号 3145

本社所在都道府県 新潟県

本社所在地 新潟県新潟市東区山木戸八丁目 4 番 8 号

問い合わせ先 責任者役職名 代表取締役社長

氏 名 津野 芳彰

T E L (025)250-7335

1. 平成 28 年 3 月期第 3 四半期の業績（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）

（注）1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。

2. 千円未満は切り捨てて表示しております。

（1）経営成績

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益
	千円 %	千円 %	千円 %
28 年第 3 四半期	24,675 (65.9)	△38,639 (-)	△40,624 (-)
27 年第 3 四半期	37,445 (134.9)	△27,443 (-)	△29,179 (-)

	当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自 己 資 本 当期純利益率	総 資 産 経常利益率	売 上 高 経常利益率
	千円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
28 年第 3 四半期	△43,698 (-)	△552 40	- -	-	△55.8	△164.6
27 年第 3 四半期	△29,179 (-)	△378 54	- -	-	△39.9	△77.9

（注）1. 期中平均株式数 28 年第 3 四半期 79,107 株 27 年第 3 四半期 77,085 株

2. 会計処理の方法の変更 有 ・ 無

3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期率です。

4. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	千円	千円	%	円 銭
28 年第 3 四半期	75,371	△42,295	△58.1	△534 67
27 年第 3 四半期	82,671	△26,980	△32.6	△350 02

（注）期末発行済株式数 28 年第 3 四半期 79,107 株 27 年第 3 四半期 77,085 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
28 年第 3 四半期	△45,726	△ 264	49,000	7,342
27 年第 3 四半期	△45,427	△1,427	47,000	5,813

2. 平成 28 年 3 月期の業績予想（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売 上 高	経常利益	当期純利益	1 株当たり年間配当金（円）				
				第 1 四半期	中間期末	第 3 四半期	期末	年間
	千円	千円	千円					
通 期	75,175	△33,272	△33,272	—	0	—	0	0

（参考）1 株当たり予想当期純損失（通期）420 円 59 銭

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

平成 28 年 2 月 10 日

第 13 期 第 3 四半期報告書

(平成 27 年 10 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日まで)

会社名（定款上の商号）	マイコロジーテクノ株式会社
英 文 名	MYCOLOGY TECHNO. CORP.
コ ー ド 番 号	3145
代表者の役職氏名	代表取締役 津野 芳彰
本店の所在の場所	新潟県新潟市東区山木戸八丁目 4 番 8 号
電 話 番 号	025-250-7335
連 絡 者	代表取締役社長 津野 芳彰

I 四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位: 千円)

期 別 科 目	第 13 期 第 1 四半期 自平成 27 年 4 月 1 日 至平成 27 年 6 月 30 日	第 13 期 第 2 四半期 自平成 27 年 7 月 1 日 至平成 27 年 9 月 30 日	第 13 期 第 3 四半期 自平成 27 年 10 月 1 日 至平成 27 年 12 月 31 日	当期累計 自平成 27 年 4 月 1 日 至平成 27 年 12 月 31 日	前年同期累計 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 26 年 12 月 31 日
	金 額	金 額	金 額	金 額	金 額
I 売上高	7,045	11,276	6,353	24,675	37,445
II 売上原価	1,943	5,253	3,840	11,037	13,026
売上総利益	5,101	6,022	2,512	13,637	24,419
III 販売費及び一般管理費	20,795	16,284	15,196	52,277	51,863
営業損失	15,694	10,261	12,683	38,639	27,443
IV 営業外収益	187	278	370	835	833
V 営業外費用	748	929	1,142	2,820	2,570
経常損失	16,255	10,912	13,455	40,624	29,179
VI 特別損失	-	3,073	-	3,073	-
税引前四半期(当期)純損失	16,255	13,986	13,455	43,698	29,179
法人税、住民税及び事業税	-	-	-	-	-
四半期(当期)純損失	16,255	13,986	13,455	43,698	29,179

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

期 別 科 目	第 13 期 第 1 四半期 自平成 27 年 4 月 1 日 至平成 27 年 6 月 30 日	第 13 期 第 2 四半期 自平成 27 年 7 月 1 日 至平成 27 年 9 月 30 日	第 13 期 第 3 四半期 自平成 27 年 10 月 1 日 至平成 27 年 12 月 31 日	当期累計 自平成 27 年 4 月 1 日 至平成 27 年 12 月 31 日	前年同期累計 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 26 年 12 月 31 日
期中平均株式数	79,107 株	79,107 株	79,107 株	79,107 株	77,085 株
1 株当たり四半期（当期） 純損失	205 円 49 銭	176 円 81 銭	170 円 10 銭	552 円 40 銭	378 円 54 銭
潜在株式調整後 1 株当たり 四半期（当期）純利益	—	—	—	—	—

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益につきましては、潜在株式が存在しないため

記載しておりません。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

期 別 事業の種類	第 13 期 第 1 四半期 自平成 27 年 4 月 1 日 至平成 27 年 6 月 30 日	第 13 期 第 2 四半期 自平成 27 年 7 月 1 日 至平成 27 年 9 月 30 日	第 13 期 第 3 四半期 自平成 27 年 10 月 1 日 至平成 27 年 12 月 31 日	当期累計 自平成 27 年 4 月 1 日 至平成 27 年 12 月 31 日	前年同期累計 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 26 年 12 月 31 日
マイコロジー事業	—	—	—	—	—
健康食品販売事業	7,045	11,276	6,353	24,675	37,445
合 計	7,045	11,276	6,353	24,675	37,445

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	第12期末	第13期第1四半期	第13期第2四半期	第13期第3四半期
	平成27年3月31日現在	平成 27 年 6 月 30 日現在	平成 27 年 9 月 30 日現在	平成 27 年 12 月 31 日現在
	金 額	金 額	金 額	金 額
(資産の部)				
I 流動資産				
1. 現金預金	4,333	6,234	7,135	7,342
2. 売掛金	33,977	28,277	32,528	30,578
3. 製 品	5,618	6,364	5,447	3,266
4. 半製品	2,332	2,627	2,501	2,501
5. 原材料	1,813	1,411	679	668
6. 仕掛品	21,394	24,112	26,201	26,995
7. 前払費用	649	649	649	649
8. 未収入金	551	398	204	248
9. その他	1,552	1,549	2,822	4,732
10. 貸倒引当金	△4,738	△4,738	△4,738	△4,738
流動資産合計	67,484	66,886	73,431	72,244
II 固定資産				
1. 有形固定資産				
建物附属設備	-	105	105	105
工具器具備品	0	182	182	182
有形固定資産合計	0	287	287	287
2. 投資その他の資産				
敷 金	2,839	2,839	2,839	2,839
長期前払費用	22	0	-	-
投資その他の資産合計	2,861	2,839	2,839	2,839
固定資産合計	2,861	3,126	3,126	3,126
資産合計	70,346	70,012	76,558	75,371

(単位：千円)

期 別 科 目	第12期末 平成27年3月31日現在	第13期第1四半期 平成 27 年 6 月 30 日現在	第13期第2四半期 平成 27 年 9 月 30 日現在	第13期第3四半期 平成 27 年 12 月 31 日現在
	金 額	金 額	金 額	金 額
(負債の部)				
I 流動負債				
1. 買掛金	4,334	2,435	4,373	224
2. 短期借入金	61,000	76,000	95,000	110,000
3. 未払金	1,794	2,143	1,748	1,920
4. 未払費用	-	748	-	1,142
5. 未払法人税等	1,328	-	-	-
6. 前受金	-	2,284	2,284	1,474
7. 預り金	486	675	489	864
8. 仮受消費税	-	578	1,502	2,040
流動負債計	68,943	84,866	105,398	117,667
負債合計	68,943	84,866	105,398	117,667
(純資産の部)				
II 株主資本				
1. 資本金	437,623	437,623	437,623	437,623
2. 資本剰余金				
資本準備金	385,623	385,623	385,623	385,623
資本剰余金合計	385,623	385,623	385,623	385,623
3. 利益剰余金				
その他利益剰余金				
繰越利益剰余金	△821,843	△838,099	△852,086	△865,542
利益剰余金合計	△821,843	△838,099	△852,086	△865,542
株主資本合計	1,402	△14,853	△28,839	△42,295
純資産合計	1,402	△14,853	△28,839	△42,295
負債・純資産合計	70,346	70,012	76,558	75,371

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

期 別 項 目	第12期末 平成27年3月31日現在	第13期第1四半期 平成 27 年 6 月 30 日現在	第13期第2四半期 平成 27 年 9 月 30 日現在	第13期第3四半期 平成 27 年 12 月 31 日現在
発 行 済 株 式 数	79,107 株	79,107 株	79,107 株	79,107 株
1 株 当 た り 純 資 産 額	18 円 19 銭	△187 円 76 銭	△364 円 57 銭	△534 円 67 銭

(4) 株主資本等変動計算書

当事業年度(自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 12 月 31 日)

(単位：千円)

項目	株主資本						純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他	利益剰余金 合計		
				利益剰余金 繰越 利益剰余金			
平成 27 年 4 月 1 日残高	437, 623	385, 623	385, 623	△ 821, 843	△ 821, 843	1, 402	1, 402
第 1 四半期中の変動額							
四半期純損失	-	-	-	△ 16, 255	△ 16, 255	△ 16, 255	△ 16, 255
第 1 四半期中の変動額合計	-	-	-	△ 16, 255	△ 16, 255	△ 16, 255	△ 16, 255
平成 27 年 6 月 30 日残高	437, 623	385, 623	385, 623	△ 838, 098	△ 838, 098	△ 14, 853	△ 14, 853
第 2 四半期中の変動額							
四半期純損失	-	-	-	△ 13, 986	△ 13, 986	△ 13, 986	△ 13, 986
第 2 四半期中の変動額合計	-	-	-	△ 13, 986	△ 13, 986	△ 13, 986	△ 13, 986
平成 27 年 9 月 30 日残高	437, 623	385, 623	385, 623	△ 852, 086	△ 852, 086	△ 28, 839	△ 28, 839
第 3 四半期中の変動額							
四半期純損失	-	-	-	△ 13, 455	△ 13, 455	△ 13, 455	△ 13, 455
第 3 四半期中の変動額合計	-	-	-	△ 13, 455	△ 13, 455	△ 13, 455	△ 13, 455
平成 27 年 12 月 31 日残高	437, 623	385, 623	385, 623	△ 865, 542	△ 865, 542	△ 42, 295	△ 42, 295

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「会社内容説明書 第5【経理の状況】 1【計算書類等】 (4)【個別注記表】 ①重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 固定資産の減価償却の方法
各四半期の減価償却費は年間発生見積額の4分の1に該当する金額を計上しております。
2. 消費税等の会計処理
仮払消費税等及び仮受消費税等を相殺し、未収入金として計上しております。

なお、当該四半期の貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書については、会計監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

Ⅱ 第13期第3四半期の業績の概況（平成27年10月1日から平成27年12月31日）

当第3四半期におけるわが国経済は、政府および日本銀行の継続的な経済政策や金融政策により収益改善がみられる企業が増加しました。しかし円安による値上げ等、先行き不透明な状況が続いているため、生活防衛意識が高まり大きな消費拡大は見込めない状況です。

社団法人日本通信販売協会が平成28年1月12日にまとめた調査概要によると、平成27年11月の総売上高は、142,165百万円で前年同月144,322百万円と比較して－1.5%と減少しました。健康食品については15,833百万円で、前年同月15,268百万円と比較して3.7%と増加し、健康食品市場は拡大を継続しています。

平成27年10月17日、東京のアークヒルズクラブで「越後白雪茸研究会」が行われました。今までに発表された越後白雪茸の効能の紹介に加えて、新潟薬科大学で新たに発見された抗肥満効果や潰瘍性大腸炎への改善効果が報告されました。加えて金沢大学からは、越後白雪茸の抗酸化物質の特定の研究経過の報告がありました。

この研究会以降は特に越後白雪茸の抗肥満効果について注目され、ダイエットやメタボ対策のサプリメントの開発依頼を受けるようになりました。

レスベラトロールを加えた越後白雪茸製品「蘇りレスベラ」のOEMの受注ならびに、成分を変化させた50mlドリンクを受注して製造中です。

また越後白雪茸製品のOEM「バンックス」は、全国で説明会を開き、取扱店を拡大し、安定して受注が続いています。

大手企業からの受注に耐える生産技術の向上に努め、単位収穫量は3年前に比較して倍増しています。

茸自体の有用性につきましても、成分分析を行い個体差の無いように検証をしています。新潟薬科大学を中心に機能性の実験を行いながら、金沢大学と有効成分の物質を特定するために共同研究を行っています。

越後白雪茸の認知度を向上させるための活動を講演会の開催、学会への参加等、広く行っていることにより、売上向上に努めています。

以上の結果、当四半期の業績は、売上高6,353千円（前年同期比60.7%減）、営業損失12,683千円（前年同期営業損失6,880千円）、経常損失13,455千円（前年同期経常損失7,515千円）、四半期純損失13,455千円（前年同期四半期純損失7,515千円）となりました。

Ⅲ 第13期通期の売上高及び利益の予測について

（単位：千円）

科 目	期 別	第12期（実績） 自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日	第13期（予測） 自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日
売 上 高		60,299	75,175
営業利益又は損失（△）		△51,732	△30,932
経常利益又は損失（△）		△54,342	△33,272
当期純利益又は損失（△）		△55,794	△33,272

IV 資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(単位:千円)

期 別 科 目	第 13 期 第 1 四半期	第 13 期 第 2 四半期	第 13 期 第 3 四半期
	自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 6 月 30 日	自平成 27 年 7 月 1 日 至平成 27 年 9 月 30 日	自平成 27 年 10 月 1 日 至平成 27 年 12 月 31 日
現金及び預金の増減額	1,901	901	206
現金及び預金の四半期首残高	4,333	6,234	7,135
現金及び預金の四半期末残高	6,234	7,135	7,342

(主な増減理由)

当第3四半期における現金及び預金の増加の主な理由は、短期借入金の借入による増加額 15,000 千円、税引前四半期純損失による減少額 13,455 千円、売上債権による増加額 1,950 千円、たな卸資産による増加額 1,398 千円、仕入債務による減少額 4,149 千円、その他流動資産による減少額 1,954 千円、その他流動負債による増加額 1,418 千円等によるものであります。

(2) 短期借入金の増減

(単位:千円)

期 別 科 目	第 13 期 第 1 四半期	第 13 期 第 2 四半期	第 13 期 第 3 四半期
	自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 6 月 30 日	自平成 27 年 7 月 1 日 至平成 27 年 9 月 30 日	自平成 27 年 10 月 1 日 至平成 27 年 12 月 31 日
短期借入金増減額	15,000	19,000	15,000
短期借入金の四半期首残高	61,000	76,000	95,000
短期借入金の四半期末残高	76,000	95,000	110,000

(主な増減理由)

当第3四半期における短期借入金の増加の主な理由は、健康食品事業にかかる株式会社国際総合ファイナンスからの借入による増加額 15,000 千円によるものであります。

V その他

該当事項はありません。

以上